

ひきこもりを考える講演会

“ひきこもり”って、何？どうして？ ～ その基本的理解とこれからを考える ～

“ひきこもり”の人たちが政府調査で全国に110万人います。日本人の約100人に1人がひきこもり状態にあり、80-50問題など大きな社会問題になっています。厳しい現状の中で、当事者の方々（ご本人及びご家族）がどうしたらこの状態を改善できるのか、また支援者としてどうしたら当事者へ寄り添い、共に考えていけるのかを、“ひきこもり”の基本的理解とこれからの具体的な関り方について、共に学び考える場として「ひきこもりを考える講演会」を開催致します。ご本人、ご家族、地域の支援者の皆様、関係機関の皆様のご参加をこころよりお待ちしております。

講師

ちょうあみ みきお
長阿彌 幹生さん



- 「どうしたら仲良くなれるか＝なかよし社会の具現化」の実践的研究（教育文化研究所 代表）
- 幸福度の高い国デンマークから“なかよし”の仕組みや考え方を普及（福岡デンマーク協会 理事長）
- ひきこもり・不登校の当事者支援（不登校サポートネット 代表・福岡県ひきこもり対策連絡調整会議委員）
- 障がい者施設の運営や授産品の販路拡大に関する改善・提案活動（セルフセンター福岡 副理事長）

日時

10月2日(土)
令和3年8月21日(土) 13時30分～15時

会場

糸島市健康福祉センター「あごら」 視聴覚室
住所：糸島市潤1-22-1

定員

40名（定員に達し次第締め切り）

申し込み

糸島市社会福祉協議会 地域課
Tel 324 - 1660 Fax 324 - 3166
Mail csw-soudan@itoshima-shakyo.or.jp

